

30歳までに身に着ける仕事で一番大切な事

古川 裕倫

1、考えるより、先ず行動

- ・ 書かすは要らない。先に行動力を伸ばす
- ・ 好きな仕事と仕事が好きは似て非なるもの
- ・ 行動規範があると自分の意見が持てる。行動にも移せる
- ・ 信頼関係の構築は不可欠。笑顔は人間力の向上につながる
- ・ 目の前にいる上司を動かせ。自分から積極的にコミュニケーションを取ろう
- ・ 時間厳守、先約優先を徹底すれば、周りからの信頼も得られる
- ・ すべての欲求が満たされる事はない。プライベートでも一番大切なことを決める
- ・ やめること、しないことを決めて実行するのは難しくない
- ・ 1日の反省時間を設け、できた自分は褒めてあげよう
- ・ 大困難に成長のチャンスあり。実力は自分の態度と行動に表れる
- ・ 目標があればチャンスはやってくる。待つのではなく作り出す

2、行動力を挙げる、スキル・知識を高める

- ・ いい仕事の積み重ねでしか、周りからの信頼は得られない
- ・ 憧れるメンターを見つけよう。先ずはメンターを真似てみる
- ・ 期限内に仕事を終わらせて報告する。上司を安心させよう
- ・ 報告は自分のやりたいことを普段から上司に伝える絶好の機会
- ・ 先送りせずにすぐ実行することで、問題も早く解決できる
- ・ 常に相手の満足度を高める。仕事に付加価値をつけよう
- ・ 一番勉強できるのは会社の中。殆どのスキルは仕事で学べる
- ・ 自分の気持ちよさを追求する独りよがりな仕事で実力はつかない
- ・ 自分の得意分野を見つける。更にもう一つ加えると強い
- ・ 自分の欠点は人に教えてもらおう。苦手分野と向きあえる努力は必要
- ・ 自責と他責を区別して、常に自分の責任として捉えよう
- ・ 給料の金額を決めているのは自分自身。会社に貢献すれば報酬は増える
- ・ 目標に具体性を持たせる。小さな短期目標をクリアしよう

3、キャリアを積む、マネジメント力をつける

- ・ 会社を経営しているつもりで、自分自身を成長させよう
- ・ マネジメントの立場で自分を高める方法は、他人や組織を動かして仕事を進める事
- ・ 自分の忙しさは置いて、部下を動かす事を考えよう
- ・ 社内の方がミス・コミュニケーションは多い。部下に伝わるための努力をする
- ・ 成功すればルール上は上司の手柄だが、お前のおかげと部下に譲る
- ・ 上司は部下に意見を求め、聞く耳を持つ。答えを出させてやる気に繋げる
- ・ 相談し合える仲間を作ろう。彼らから勇気とアドバイスが得られる。
- ・ 会社全体の事を考えて、優秀な部下を一人でも多く育てよ

4、仕事力・人間力を育てる勉強法

- ・ 仕事が一番勉強出来る時。仕事を離れても読書は欠かさない
- ・ 読書は最も安くて簡単な自己投資。読書は人間形成を加速する。
- ・ やさしいビジネス書をたくさん読もう。挫折本があっても気にしない。
- ・ 読むべき本は専門分野から探そう。読んでいくうちに必要な本と出合う
- ・ 役立つ部分、自分にとっての発見は、ページに必ずしるしをつけておく
- ・ 読んだ本には直接意見を書こう。行動につながるきっかけになる
- ・ 五感で学ぶと早く実力が付く。本の著者の講演会に行こう
- ・ 交流会はギブアンドテイクの精神で。専門外の分野の話にも関わろう

5、転職を考えているあなたへ

- ・ 信念があり、仕事の喜びを感じられれば、転職はしてもいいし、しなくてもいい
- ・ 転職をする事≠実力をつける事。前向きな行動力があるかどうかが重要
- ・ 転職後はいまよりはるかに厳しい環境が待ち受けている
- ・ 覚悟に勝る決断なし。ただし決断の前には問題点の分析・整理を。
- ・ どんな会社・業界でも必要な仕事の本質を見失わない
- ・ 自分が自信を持てる部分を残して転職しよう。目先の待遇だけで仕事を選ぶと失敗する
- ・ 立つ鳥跡を濁さず。有給消化より業務引継ぎを優先する
- ・ 前の職場の仲間を大事にする。利害のない友人関係を続けよう
- ・ 転職して実力を出すのは大前提。小さなヒットを重ねて確実に貢献する
- ・ 自分流を貫くのはタイミングと立場を考えてから。前向きな理解者を多く作ろう